

貿易部会主催講演会

無料

アジアシフトの新潮流

～トランプ関税発動に伴う対応策の一つとして～

米国の高関税などによる世界経済の不透明感が続く中、日本企業には貿易多角化などの対策が求められています。アジア地域では、域内連携が加速しており、貿易シフトの有力な候補先ともなっています。

本講演では、アジアシフトの最新トレンドを踏まえ、アジア市場の魅力、地域統合・政策対応の現状、そして日本企業が取るべき戦略的対応策の視点・ヒントについて解説していただきます。

政策研究大学院大学教授 篠田 邦彦 氏

1988年に通商産業省（現経済産業省）入省後、APEC室長、資金協力課長、アジア大洋州課長、通商交渉官等を歴任。本省では、RCEP等の経済連携協定交渉やASEAN・中国・インド等との経済・産業協力を担当。

アジア各国での駐在経験も豊富。出向先に、在フィリピン日本国大使館、JODCバンコク事務所長、JOGMEC北京事務所長、日中経済協会北京事務所長など。

2022年に政策研究大学院大学教授に就任。



日 時

10月10日(金)
10:30～12:00

※講演に先立ち、冒頭15分ほど貿易部会に関する議件がございます。予めご了承ください。

会場

東京商工会議所 本部 5 階
RoomA1・A2

(オンライン参加可：Zoom)

申込方法

東商ホームページ上段の「イベントを検索」欄にイベント番号「205903」を入力し検索いただくか、下記の二次元コードからお申込みください。

205903



▽お申込はこちら

【お問い合わせ】

東京商工会議所 国際部

03-3283-7604 / kokusai@tokyo-cci.or.jp

